

報告 第25回アーモンドの会(2019年)

アーモンドの会 (障がいを負う人々と共に生きる教会を目指す懇談会)

9月23日(月・祝)、第25回アーモンドの会が、埼玉和光教会を会場に開催されました

「障がいを負う人々と共に生きる教会を目指す懇談会」という少し長い名称の懇談会です。4半世紀継続しているこの懇談会は、様々な障がいを負う方との共生を教会はどのような配慮をもって接してきたかを考える時として、また、さまざまな取り組みをしている方の話を聞き、学び合い、語り合うことを通して気づきを与えられることを目的としています。

今回は統合失調症について、医療専門家の目線、当事者の方の目線、関わる方々(家族として、教会の兄弟姉妹として)の目線から講演を聴き、当事者の方の証を聴き、参加者の思いを語り合う時間としました。



開会礼拝は、澁谷弘佑牧師(毛呂教会)が「主のもとに住む」との説教題でコリントの信徒への手紙5章1節～10節から、ご自分の体験を交えて語られました。



今年には統合失調症を取り上げ、主題講演を精神科医功刀弘氏（日本基督教団甲府教会員、功刀クリニック名誉院長）にお願いしました。「統合失調症診療歴より」—イエスが病んでいる人たちと出会ったときの物語から学ぶ—と題して講演していただきました。丁寧なレジメを

聖書の言葉から引用しましょう

ヨハネによる福音書 9章3節

弟子たちはイエスに尋ねた、「この人が生まれつき盲人なのは、だれが罪を犯したためですか、本人ですかそれともその両親ですか」

イエスは答えられた。

「神の業がこの人に現れるためである」

精神を病んだ人たちに出会った記事から

マルコによる福音書 5章5-8

ルカによる福音書 8章26-39

マタイによる福音書 8章28-34

自分の睡眠の状態から 精神の症状を理解する

- 精神病症状は身体症状→睡眠障害→精神症状と形成される
- 身体症状の時に不適切な治療によって病状は進行する
- 眠れない、眠らない時の診断が重要となる
- 睡眠障害の自覚を如何に付けるかによってその後の生活の良否が決まる
- 睡眠障害を自覚させることによりアドヒアランスを持つことができる

2019/9/23

23

作成していただき、スライドを使ったお話は、私のようなものにも理解しやすいように工夫してくださっていたと感じました。

最初に聖書のみ言葉から説き起こされ、50年の診療経験から、回復後の再発原因や治療の問題点、特に睡眠と病状の関係など様々な知見を示してくださいました。

当事者の「心の泉会」小林良雄さんの証しは、当事者として、学生時代に自分の異常にきずき、受診に至った経緯からはじまり、仕事を探すときの苦労、就職と断薬が原因の再発、転職の繰り返し、現在の仕事に至るまでの様々な出来事を率直に語ってくださいました。

お昼は食事をいただきながら、歓談の時。教会ごとの紹介や、伝道集会のPRなど。ロビーでは作業所・教会などの物品販売・・・。



午後からは6～8人の小グループに分かれての分かち合いを行いました。参加者全員がそれぞれの立場で発題から感じたことなどを自由に話します。「当事者の小林さんの話に力付けられた」との感想をお話しされる方が多くいました。また



「自分の障がいのことをここだから話せるけど、安心して話せる場を探して教会を転会した。」「障がいのある方にどう接したらよいか悩むことがある。」



「統合失調症の方とのトラブルの対処法なども聞きたかった」など自由な意見交換が活発に行われました。



最後に全員が集まり、分団報告や講師の補足説明と高橋悦子牧師(桶川伝道所)の閉会祈禱をもって終了しました。



参加者は104名(23教会、3他教会、1団体 席上献金 ¥64,515)

アーモンドの会はホームページを開設しています。是非ご覧ください。

<http://www.almond-saitama.com/conference/>

アーモンドの会 書記 奥田幸平(埼玉新生教会 信徒)